

学校番号	206
------	-----

令和3年年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「美術2」 (光村図書出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

表現形式を選択して創造的な表現の構想を練る「絵画・彫刻」、目的や条件などを基に、効果を考えて創造的で心豊かな表現の構想を練る「デザイン」、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて、多様な視点から分析、理解を深める「鑑賞」の分野について学習します。

2 学習の到達目標

芸術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞ワークシート 鑑賞態度・姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	單 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	美術の授業について	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 教科書その他の資料、生徒過去作品等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 	○			○	<p>a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。</p> <p>d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>学習活動の様子</p>
	花籠を作ろう	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙心材の作品の鑑賞 紙心材の特徴や編み方が分かる作品を鑑賞する。 アイデアスケッチ 四角形の底面の花籠の形を立体的に考える。 制作 紙心材を加工し編み、2学期に制作する造花を入れて飾るための花籠を制作する。 相互鑑賞・プレゼンテーション (全体) 	○	○	○	○	<p>a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>b: 紙心材の特性を考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 目的、機能、美しさなどを考え、紙心材を自在に加工し、創造的な表現方法を工夫して表している。</p> <p>d: 作品のよさや美しさ、意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>
	豪華な造花を作ろう	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の鑑賞 生花、市販の造花、過去作品等の立体、教科書・図鑑等の紙資料他、インターネット上の画像等多数の参考資料の鑑賞をする。 アイデアスケッチ 花の種類、葉、大きさ、本数、色等、バランスの良いアレンジを考える。 制作 樹脂粘土、カラー針金等を用い、アクリル絵の具で着彩して、豪華で精緻な造花作品を制作し、1学期前半に作った花籠に飾り付ける。 相互鑑賞・プレゼンテーション (全体) 	○	○	○	○	<p>a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 樹脂粘土の特性に応じた技能を身に付け、造花作品の美しさなどを考え、創造的な表現方法を工夫して表している。</p> <p>d: 装飾としての花作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>

	パッケージをデザインして作ろう	【デザイン】【鑑賞】							
		<ul style="list-style-type: none"> ・市販品の鑑賞 市販の500mlの紙パック商品を中心に飲み物のパッケージを多く集めて鑑賞する。 ・アイデアスケッチ デザインの意図を考察し、実際に製品化できるようなものを考える。 ・制作 本物らしさを追求するため、アクリル絵の具と極細油性ペンで細部や仕上げにも注意をはらい仕上げる。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（全体） 	○	○	○	○	a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性、レイアウトや色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c: 商品としてのパッケージデザインの目的を考慮し、巧みに描画、着彩して、魅力のある表現方法を工夫して表している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品	
2学期	ゼンタングルを用いた作品を作ろう	【デザイン】【鑑賞】							
		<ul style="list-style-type: none"> ・資料の鑑賞 ゼンタングルが使われている実際の作品、印刷物等を鑑賞し、その目的・効果を知り、基本的なテクニックを理解する。 ・技法の練習 様々な種類(48種類)のゼンタングルを学ぶ。 実際の例を参考にしながら独自に考え練習用紙に鉛筆で描く。 ・制作 練習用紙に描いた独自のデザインの中から9つのパターンを選び、それらを繋いで1つの作品になるように工夫し、極細油性ペンで仕上げる。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（全体） 	○	○	○	○	a: 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性や造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c: ゼンタングルの基本的なテクニックを身に着け、様々な美しさの表現方法を工夫して表している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート 練習用紙 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品	

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度
c:創造的な技能

b:発想や構想の能力
d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けていく。